

石垣復旧工事室だより No.2

令和元年 10 月 17 日

県議会・文教厚生委員会視察

8月29日(木)香川県議会文教厚生委員会と丸亀市選出の県議会議員をあわせた10名が、丸亀城の被災状況を視察に来ました。丸亀城の歴史や崩落の経緯、応急対策工事等を説明し、「石垣を元の位置に戻すのは大変だろうが、頑張ってください。」と激励のお言葉をいただきました。



郷土にまつわる歴史講座(協力…明治文庫の会) 「丸亀城の石垣復旧について」

9月8日(日)まなびランド(生涯学習センター)において、歴史講座が開催され、28名の方にご参加いただきました。

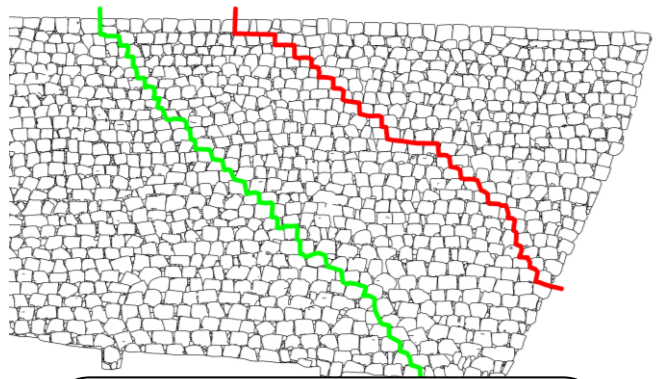
石垣の崩落や応急対策工事、本格復旧工事の説明を行い、「市民の願いは一日も早い石垣復旧です。」と締めくくりましたが、参加者から「二度と崩れない石垣復旧が願いです。」と、すどいご発言をいただきました。皆様のご期待に応えるため、復旧に全力を尽くします。



令和元年度第3回

史跡丸亀城跡石垣復旧専門部会開催

石垣復旧工事における専門的な意見を聴取するための機関として、史跡丸亀城跡石垣復旧専門部会があります。9月24日(火)専門部会を開催し、崩落石垣の解体範囲をご審議いただきました。石垣の修復はオリジナル(積み上げられた当時のもの)を残すことが求められます。現地視察も含め、委員の皆様の真剣な議論のもと、解体範囲を決定し、調査整備委員会です承を得た後、工事に着手することになります。



赤のラインは、応急対策工事で石垣を撤去した後の状況を示すものです。

緑のラインが、本格復旧工事で解体する範囲となり、この解体により石垣の孕み出し(膨らみ)や、石材の割れを修復していきます。



城壁の耐震診断・補強に関する研究 小委員会が現場を視察

9月3日～5日に開催された「土木学会全国大会 in 四国」の合間を縫い、9月4日（木）土木学会「城壁の耐震診断・補強に関する研究小委員会」委員長、国土館大学理工学部理工学科の橋本教授と、小委員会のメンバーが石垣の崩落現場を視察しました。



第1回丸亀城現場見学会

9月14日（土）旧城内グラウンドにおいて、第1回丸亀城現場見学会を開催し、市内外から35名の方にご参加いただきました。石垣の崩落や応急対策工事、本格復旧工事の説明を行い、応急対策工事を取り外した650石の石材を教材として、石材の加工方法や、石材種類の説明を行いました。石材の大きさや加工跡から石の特徴を学び、刻印探し、丸亀城クイズの後、自由見学を行いました。近くで見て、触れていただき、大きさや手触りを体感していただきました。今後も工事の進捗にあわせて現場見学会を開催し、多くの皆さんに丸亀城への興味・関心を深めていただく機会にしたいと考えております。

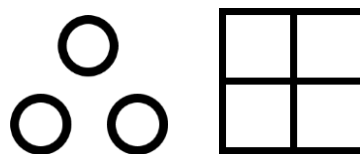


★刻印とは？

石材に記された文様（模様）で、その意味は諸説ありますが、石を切り出した大名家の名前や、石垣を作るときの班分けの目印などと考えられています。



城内グラウンド内の石に2種類の刻印があります



安全祈願祭

令和元年10月3日（木）丸亀城石垣崩落復旧整備事業 安全祈願祭が執り行われました。

今後、令和6年3月末の完成を目標に、事業を行ってまいります。



作成：丸亀市都市整備部都市計画課
石垣復旧工事室 TEL0877-23-2107